

# 事業用自動車の車枠・車体等の適切な 点検整備の実施について

国土交通省では、高速乗合バス等の事業用自動車を運行する自動車運送事業者等に対して、車枠・車体の腐食に関する事故再発の防止を図っているところです。

また、三菱ふそうトラック・バス株式会社では、車枠・車体の腐食に関し、バス車両床下の防錆点検と補修要領等を取りまとめ、下記のとおりホームページ上で公表するとともに、同社製の大型バス（MS型、MM型）の使用者に対してダイレクトメールや電話等により点検整備の必要性について説明してきたところであり、今後、中型バス（MK型、MJ型）についても同様の措置を講じる予定となっております。

しかしながら、平成27年11月12日に宮城県内の東北縦貫自動車道において、東北運輸局管内の貸切バス（三菱・KL-MS86MP（平成16年式））がハンドル操作不能となり、中央分離帯に衝突し、乗客7名が負傷する事故が発生しました。

事故原因については、現在調査中ですが、別添1のとおり当該事故車両の車枠・車体に著しく腐食が見られたことから、車枠の主要骨格部分の腐食によりハンドル操作が不能となった可能性が考えられるところです。

これまで、車枠・車体の保守管理について、注意喚起をしていたにもかかわらず、同種の事故が発生したことから、各運輸支局を通じて、管内の自動車分解整備事業者に対して、凍結防止剤、塩風等による塩害を受けている入庫車両の車枠・車体等の重要保安装置取付け部の腐食状況について適切な点検整備を実施するよう通知するとともに、国土交通省から当会に対し再発防止のために下記の措置を行うよう周知依頼がありました。

## 記

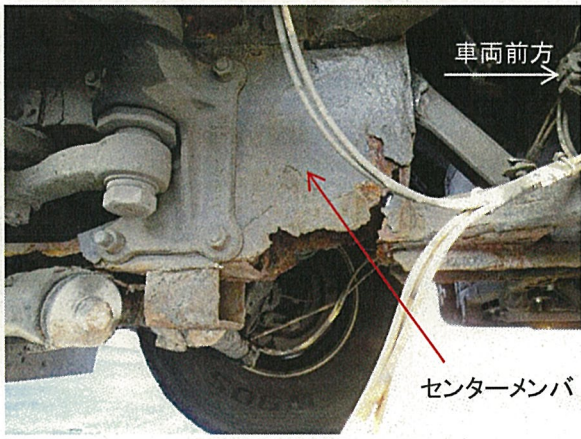
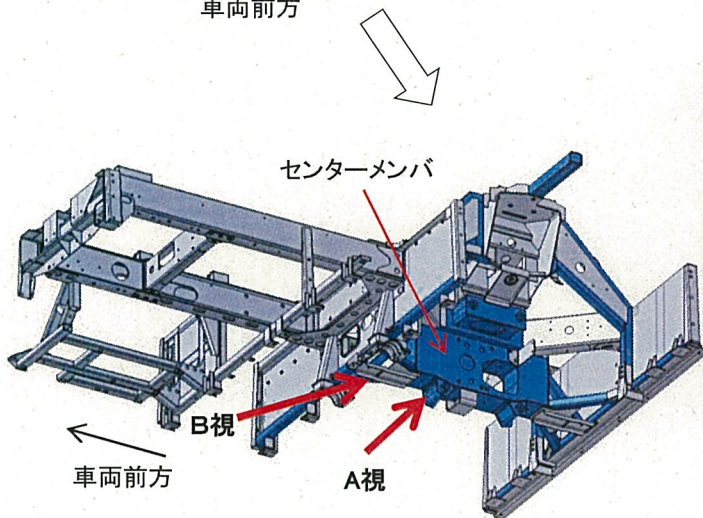
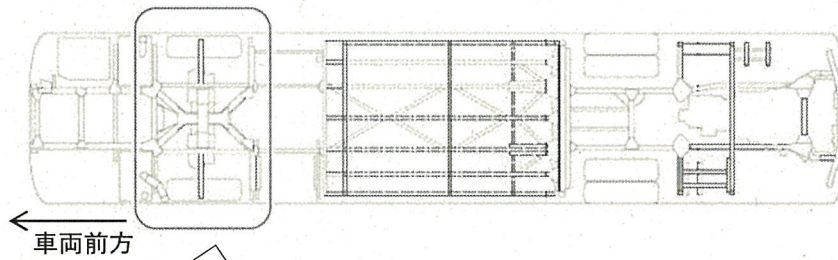
- 1．点検ハンマーによる打音検査等により腐食の有無を確認すること
- 2．各自動車メーカーが提供している情報を参考に点検を実施すること。

【三菱ふそうトラック・バス株式会社ホームページURL】

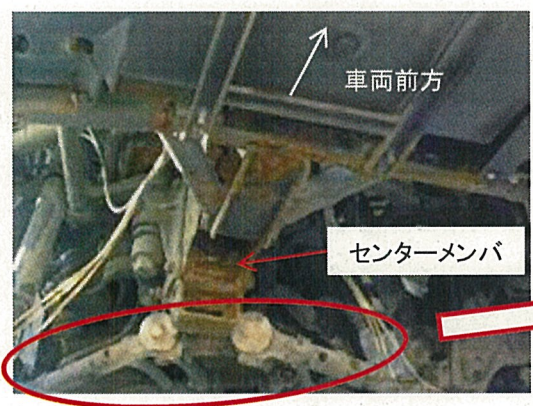
[http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/information/bus\\_underfloor/index.html](http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/information/bus_underfloor/index.html)

- ・三菱ふそうバス車両床下の防錆点検と補修要領（整備事業者向け）
- ・バスのフレームを錆から守る整備術（使用者向け）

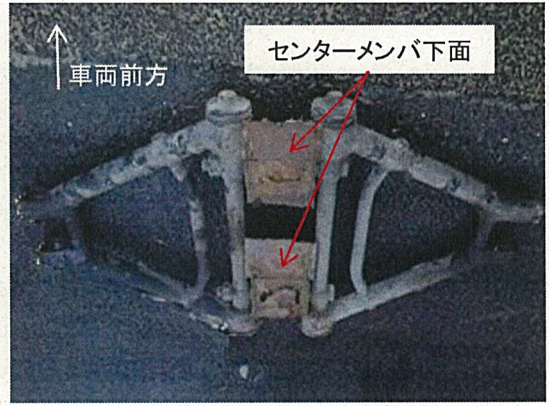
【事故車の状況】



A視:センターメンバ側面視



B視:センターメンバ車両前方下面視



※ロアアームを車両から取り外した状態